

令和5年度 指定管理者 評価報告書

No.	31	評価区分	Ⅱ 観光施設、産業振興施設
施設名	地域交流センター船津座	所管課	商工課
指定管理者	HIP有限会社	地域名	神岡町

1 施設の概要

施設所在地	飛騨市神岡町船津1130番地1
設置目的	地域産業の活性化及び就業機会の確保を図る。
施設の概要	鉄骨造及び木造 多目的ホール活用施設、会議・休憩施設 野外交流広場、駐車場

2 指定管理者制度の導入状況

制度の当初導入	平成 17 年 4 月	募集の方法	公募
評価年度の属する指定期間	令和元年度 ～ 令和5年度 （ 5年間 ）		
利用料金制	有り		

3 職員の配置

配置人員	常勤	10
	非常勤	0

4 施設利用者の推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数 (人)	5,265	5,525	9,401	10,364
前年度増減比 (%)		4.9%	70.2%	10.2%

5 業務計画における達成状況

実施目標	達成状況
利用者数 20,384人	コロナも明け昨年よりも利用者増にはなったが、目標までは届かなかった(達成率50.8%)

6 モニタリングによる意見及び苦情等の把握と対応状況

アンケート方式	手段	直接意見聴取	件数	0 件
その他の方式	手段	HPにメッセージフォーム、館内に意見箱設置	件数	0 件
利用者等からの意見と対応		要望・意見・苦情	対応	
指定管理者に対する意見	①	屋外の外灯が切れている	業者に点検してもらい市と協議し、修繕	
	②	2階エリアのエアコンの効きが悪い	業者に点検してもらい、修繕	
	③	AED設置の要望	近くに消防署があることから引き続き検討	
市に対する意見	①			
	②			
	③			

7 地域との交流・連携の取り組み

取り組み	実績及び評価
貸館、無料休憩所や喫茶の利用を通して、日常的に交流を図っている。また、イベントなどで地域住民と連携し実施することにより協力関係の構築も図っている。	地域住民が交流できる無料休憩スペースを確保し、利用と交流の促進が行われている。また、イベント時は地域住民と連携して実施している。

8 指定管理者からの提案方策の実施状況

取り組み	実績及び評価
船津座倶楽部(モニタリング会議)は令和6年秋に予定している。	昨年も実施するとあったが実施に至っておらず、R6年度は必ず実施するとのこと。良い取り組みであり、継続していただきたい。

9 自主事業の実施状況

実施内容	実績及び評価
会社の理念として、お客様のリクエストに応じたサービスの向上や自主事業に努めてきた。宴会需要については規模や件数自体は減ったが収入増となった。	スタッフの意識やモチベーションは高く、理念の元、日々努力されている。利用者ニーズに対応しながら、今後さらなる自主事業や企画、イベントを期待している。

10 人材育成の状況

実施内容	対象・回数など
接客、個人情報取り扱いなどの研修を行っている。	全従業員対象で、施設運営に関する各種研修が積極的に行なわれている。また神岡商工会議所主催の研修にも参加している。

11 収支に関する状況(経費の縮減)

(単位:千円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	主な内容
収入	30,332	31,383	36,898	46,260	
指定管理料	20,544	20,544	20,544	20,544	
利用料金	1,390	1,591	2,299	2,456	
純売上高	3,337	3,437	8,546	19,069	
その他	5,061	5,811	5,509	4,191	
支出	30,496	31,388	37,696	45,622	
売上原価	2,231	2,309	6,045	13,800	
人件費	15,211	15,142	14,638	14,422	
光熱水道費	3,141	3,749	6,871	6,619	
設備保全費	1,947	2,143	2,143	2,146	
修繕費	55	71	160	47	
備品消耗品	277	6	64	16	
清掃費	0	0	0	0	
その他管理費	2,336	2,437	2,281	2,484	
運営費事務費	3,398	2,845	3,147	3,916	
その他	1,900	2,686	2,347	2,172	
指定管理業務収支	△ 164	△ 5	△ 798	638	
自主事業収支					
全体収支	△ 164	△ 5	△ 798	638	

※指定管理料が0円の施設の自主事業収支は、指定管理業務収支に含まれるものとする。

12 収入確保に対する取組

取り組み	実績及び評価
各団体の希望する宴会事業や総会、企業の発表会及び文化事業(カルチャー教室)等、利用者目線で使いやすさを追求し収益増加に努めてきた。	コロナが明け宴会需要も広がり、収入を伸ばしている。一方で、カルチャー系の利用は減少しており、引き続き利用しやすい環境を整えとともに、施設としても積極的な周知・PR活動を行っていただきたい。

13 経費削減に対する取組

実施内容	実績及び評価
スタッフ一同経費削減の意識を常に持ちながら利用客に迷惑が掛からない範囲で電気や冷暖房の適切な管理に努めている。	スタッフ全体の共通認識として、情報を共有しながら経費削減に努めている。新電力への移行も検討されている。

14 指定管理者の評価

指定管理者制度運営委員会での審査を経て決定された最終評価

大項目	評価		評価に対する内容
平等利用の確保(10)	b	(7)	利用者に対して、予約、利用まで問題なく平等に対応している。それぞれにカルテも作成し管理されている。利用者ならびに主催者両方の立場に立って、平等性の確保に努めている。
施設の効用の発揮(25)	c	(13)	設備の老朽化が目立ってきている中、市街地にあるメリットを活かして、地域の様々なニーズに応え、憩いの場、交流の場、活動の拠点としての役割を果たしている。
安定した管理能力(20)	c	(10)	地域のコミュニティ活動を支える指定管理施設として大きなトラブルもなく、長期に渡り管理運営を行ってきたことはスタッフの尽力の賜物である。コロナ後も状況に応じた運営管理により、誰でも入りやすく、利用しやすい施設となっている。
経費の縮減(20)	b	(15)	コスト削減についてはスタッフ全員が強い意識を持って行っており、特に電力の高騰については、削減できるところを探し、削減に努められた。また今後は再び新電力への移行を検討されており、さらなる経費の縮減に期待したい。
自主事業等及び各課で定める項目等(25)	c	(13)	利用者のライフスタイルの変化に柔軟に対応し、さらに地域の特性やニーズに合わせた施設運営に取り組んでいただきたい。
総合評価	C+	(58)	施設運営や事業に対し、スタッフのモチベーションや意識は高く、地域や利用団体のニーズに沿った今後の施設運営に期待している。